| | | 専門学校 | X I | 開講年度 | 平成31年度 (2 | (019年段) | 授業科目 | 地理 I (C | 1211) | | |
|--------------------|-------------------|--|--|--|--|---|--|---|--|---|--|
| 科目基 | | 10 | | | | , | | _ , , | , | | |
| 科目番号 | | 1Z03 | | | | 科目区分 | 一般 / 必何 | | | | |
| 受業形態 | | 講義 | | | | 単位の種別と単位数 履修単位: 1 | | 1 | | | |
| 開設学科 | | 産業シ | ステムエ | 学科環境都市 | 5・建築デザインコ | 対象学年 | 1 | | | | |
| 開設期 前期 | | | | | | 週時間数 | 時間数 2 | | | | |
| 教科書/教 | 树 | 地理B, | /東京書籍 | 音、新高等地[| 図/東京書籍、GCSE | Geography AQA | Student Book | ident Book | | | |
| 旦当教員 | | 河村 信 | 治 | | | | | | | | |
| 到達目 | 標 | | | | | | | | | | |
| る 日然環境 日間 日間 | と人間の生活 際社会などt | 舌について 地理的な課 | の地理的 | 見方、考えが で自分自身と | が理解できる。 との関わりを自覚し | 、広い視点を持ち、 | 論理的に考える。 | ことができ | る。 | | |
| | リック | D-T-1.00K | KEIC 2 V | | | M M V PBM C 19 5 C | | | <u> </u> | | |
| | | | 理想 | !!的な到達レ | ベルの目安 | 標準的な到達レベル | レの目安 | 未到達レ | ベルの目安 | | |
| | | | 自然 | 然的環境への | 高い関心と防災意 | プレートテクトニクス、大気の大 | | 地震や気象災害、温暖化の被害等 | | | |
| | | | | を持つことが | | 循環のメカニズムカ | が理解できる | | について理解できない。 | | |
| | | | | 戻変動に関す [、] できる | る英文教科書が読 | ケッペンによる各気候区の概念が 自然取 理解できる できれ | | | 環境と人間活動の関係が理解 ない | | |
| | | | 活動 | かすることが | | | | | 持続可能性、多様性の意味を理解 できていない | | |
| | | | | 界の資源・エ≥ こついて構造Ⅰ る | ネルギーおよび産 的な課題を理解で | 世界の資源・エネル 業について、授業で 容を理解できる | 業について、授業でとりあげた内 業につい | | | 資源・エネルギーおよび産 いて、授業でとりあげた内 なできない | |
| 学科の | 到達目標項 | 頁目との「 | | | | | | | | | |
| | 育到達度目標 | | | 性の涵養 | | | | | | | |
| 效育方 | | | | | | | | | | | |
| | | 一つつい | いくだめ | ひかりませいる | 4的考え力を奪う。 | とを日牒とする。 | | | | | |
| 受業の進 注意点 | め方・方法 | 地理 I 、「産 学ぶ。 | (春学期 業」につ いくつか | l) では主に いての基礎的 のテーマにつ | いて英語のテキ人 | とを目標とする。 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートをし よくふりかえり整理 | eography)を使 | 用して授業 | を行う。 | | |
| E意点 | | 地理 I 、「産 学ぶ。 | (春学期 業」につ いくつか | l) では主に いての基礎的 のテーマにつ | 「自然環境(地形・領な講義を進める。 I いて英語のテキス | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge | eography)を使 | 用して授業 | を行う。 | | |
| 意点 | | 地理 I 、「産 学ぶ。」 春学期 学習の | (春学期 業」につ いくつか |)では主に いての基礎的 のテーマにつ (4時間)の記 とそこから気 | 「自然環境(地形・領 な講義を進める。† いて英語のテキス | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートをし よくふりかえり整理 | eography)を使 | 申して授業 。また、学 必要。 | を行う。 | | |
| 意点 | | 地理「正学」である。 | (春学期 業)につか は週2回 プロセス 授業内 地理的 |)では主に いての基礎的 のテーマにつ (4時間)の とそこから気 3唇 | 「自然環境(地形・うな講義を進める。 † ひいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートをし よくふりかえり整理 | eography) を使 っかりとること しておくことが。 | 用して授業。 。また、学 必要。 | を行う。習内容の復習 | とともに、 | |
| 意点 | | 地理 I 正 | (春学期 に (業) につか は 週2回 セス 授理 地形と 地形と |)では主にいての基礎的のテーマにつく (4時間)のほとそこから気容 見方・考え7 | 「自然環境(地形・うな講義を進める。 † ひいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートをし よくふりかえり整理 | eography)を使 っかりとること しておくことが。 Dごとの到達目標 | 用して授業。 。また、学 必要。 | を行う。習内容の復習 | とともに、 | |
| 意点 | | 地理 I 産業 学習の 1 週 2 週 3 週 | (春学期 に は 過2回 セス 授理セス 地理形 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ |)では主に いての基礎的 のテーマにつ (4時間)の とそこからを 1見方・考え7 地形形成営力 環境 | 「自然環境(地形・うな講義を進める。 † ひいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートをし よくふりかえり整理 | eography)を使 っかりとること しておくことが。 Dごとの到達目標 | 用して授業。 。また、学 必要。 | を行う。習内容の復習 |]とともに、 | |
| 意点 | | 地理 I E F F F F F F F F F F F F F F F F F F | (| l) では主に いての基礎的 のテーマにつ (4時間) の記 とそごからを 国際 可見方・考え7 地形形成営力 環境 (4) | 「自然環境(地形・うな講義を進める。 † ひいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートをし よくふりかえり整理 | eography)を使 っかりとること しておくことが。 Dごとの到達目標 | 用して授業。 。また、学 必要。 | を行う。習内容の復習 | とともに、 | |
| 意点 | | 地理 I 産 で 単 で 単 で 単 で で 単 で で 単 で で 単 の で | (業) (大) |)では主にいての基礎的のテーマにつ (4時間)の記とそこから気 図客 団見方・考えア 地形形成営力 環境 区分(1) | 「自然環境(地形・うな講義を進める。 † ひいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートをし よくふりかえり整理 遊 | ography)を使っかりとること しておくことが。 しておくことが。 でとの到達目標 でローバルな社会 | 用して授業。また、学 必要。 や地球環境 | を行つ。 習内容の復習 の見方を理解 | さされて、 | |
| | 画 | 地理 I E F F F F F F F F F F F F F F F F F F | (業) (大) | l) では主に いての基礎的 のテーマにつ (4時間) の記 とそごからを 国際 可見方・考え7 地形形成営力 環境 (4) | 「自然環境(地形・うな講義を進める。 † ひいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートをし よくふりかえり整理 | eography)を使 っかりとること しておくことが。 Dごとの到達目標 | 用して授業。また、学 必要。 や地球環境 | を行つ。 習内容の復習 の見方を理解 | さされて、 | |
| E意点 | 画 | 地理 I 産 で 単 で 単 で 単 で で 単 で で 単 で で 単 の で | (業) はブース (業) はブース (場) はブース (場) 地地気 (気) 地地気 (気) 地球 (場) 気気 (地球 (場) は (場) |)では主にいての基礎的のテーマにつ (4時間)の記とそこから気 図客 団見方・考えア 地形形成営力 環境 区分(1) | 「自然環境(地形・うな講義を進める。 † ひいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートをし よくふりかえり整理 近 グ | egraphy)を使っかりとることがしておくことが。 ごとの到達目標「ローバルな社会 はは温暖化はじめて説明できる。 環問題の現状に は、科学技術が地 | 用して授業。また、学 か地球環境 主な地球環 | で行つ。 習内容の復習 の見方を理解 は境問題の原因 | さともに、 なする。 こと対策につ | |
| 意点 受業計 | 画 | 地理 I 産 I 産 I 産 I 産 I 産 I 産 I 産 I 産 I 産 I | (業いはプライン) (業のはアライン) (でまれる) ではアライン (でまれる) ではアライ (でまれる) では、 では、 では、 できない (でまれる) できない (できない) できない) できない (できない) できない) できない (できない) できない (できない) できない) できない | l) では主にいての基礎的のテーマにつ (4時間) の記とそこから気 即見方・考えフ 地形形成営力 環境 (3分(1) (3分(2) (3付(1) | 「自然環境(地形・うな講義を進める。 † ひいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートを よくふりかえり整理 近 グ | egraphy)を使っかりとることしておくことが。 しておくことが。 してとの到達目標 でしーバルな社会 はい温暖化はじめ で説明できる。 環問題の現状に | 用して授業。 また、学 ン要。 や地球環境 主な地球環 で球環境や社 | で行つ。 習内容の復習 の見方を理解 は境問題の原因 本的な事項に 会に及ぼす影 | とともに、 なする。 こついて把握を説明で | |
| E意点 受 業計 | 画 | 地、学春学 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 | (業いはプライン) (業のはアライン) (業のではアライン) (できまり) (できま |)では主にいての基礎的のテーマにつく (4時間)の記とそこから気容の見方・考えア 地形形成営力 環境 (3分(1) 環境問題(1) | 「自然環境(地形・行な講義を進める。1 可な講義を進める。1 可いて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートを よくふりかえり整理 近 グ | egraphy)を使っかりとることが。 しておくことが。 ことの到達目標「ローバルな社会」 は味温暖化はじめいて説明での現状に は、科学技術が地できる。 は、科学にある。 | 用して授業。 また、学 ン要。 や地球環境 主な地球環 で球環境や社 | で行つ。 習内容の復習 の見方を理解 は境問題の原因 本的な事項に 会に及ぼす影 | とともに、 なする。 こついて把握を説明で | |
| E意点 受 業計 | 画 | 地、学春学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 | (業いはプライン) (業のはアライン) (でいます) ではアライン (でいます) では |))では主にいての基礎的のテーマに立 (4時間)の記とそこからを 可見方・考えが 地形形成営が 環境 (3分(1) (3分(2)) (3分(2)) (3分(3)) (4時間) (4時間) (5分(2)) (5円間) (7) (7) (7) (8) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9 | 「自然環境(地形・デロな講義を進める。 ものいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートを理 よくふりかえり整理 近 が ば ば ば は は は は は は は は は は は は は は は は | egraphy)を使いていることがいったの到達目標でしていいな社会の可能をある。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 用して授業学の表表の表表の表表の表表の表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を | で行つ。 習内容の復習 の見方を理解 は境問題の原因 本的な事項に 会に及ばす影 | とともに、 なする。 ないて把握を説明で ないて説明で | |
| 意点 受業計 | 画 | 地、学春学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 | (業いはプライン) (業いはプライン) (業のはアライン) (できまり) (できまり |))では主にいての基礎的のテーマに立 (4時間)の記とそこから気 関見方・考えが 関見方・考えが 関見方・考えが 関連 (4時間)の記 (4時間)の記 (4時間)の記 (5分(1) (3分(2) (3分(2) (3円間)の間 (3分(3) (3円間)の間 (3円間)の同 (3円に)の同 (3円に | 「自然環境(地形・デロな講義を進める。 ものいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートを理 よくふりかえり整理 近 が ば ば ば は は は は は は は は は は は は は は は は | eography)を使っかりとることが。 しておくことが。 しておくことが。 してとの到達目標がローバルな社会 は、はいできる。 は、はいできる。 は、はいでは、はいかいできる。 は、はいかいできる。 は、はいかいできる。 は、ここのでは、このでは、 | 用して授業学の表表の表表の表表の表表の表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を | で行つ。 習内容の復習 の見方を理解 は境問題の原因 本的な事項に 会に及ばす影 | とともに、 なする。 はと対策について把握を説明でいて説明で | |
| 意点 受業計 | 直 1stQ | 地、学春学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 | (業いはブライン) 関連 は で で で で で で で で で で で で で で で で で で |))では主にいての基礎的のテーマに立 (4時間)の記とそこからを 3容 可見方・考え7 地形形成営力 環境 (3分(1) 環境問題(1) 環境問題(2) 環境問題(2) 関連の構図 J能な社会(1) J能な社会(2) | 「自然環境(地形・デロな講義を進める。 ものいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートを理 よくふりかえり整理 近 が ば ば ば は は は は は は は は は は は は は は は は | egraphy)を使いていることがいったの到達目標でしていいな社会の可能をある。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 用して授業学の表表の表表の表表の表表の表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を | で行つ。 習内容の復習 の見方を理解 は境問題の原因 本的な事項に 会に及ばす影 | とともに、 なする。 はと対策について把握を説明でいて説明で | |
| 意点 受業計 | 画 | 地、学春学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 | (業いはプライン) (業いはプライン) (業のはアライン) (できまり) (できまり |)では主にいての基礎的のデーマに立 (4時間)の記とそごからを 1987 1 | 「自然環境(地形・デロな講義を進める。 ものいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートを理 よくふりかえり整理 近 が ば ば ば は は は は は は は は は は は は は は は は | egraphy)を使いていることがいったの到達目標でしていいな社会の可能をある。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 用して授業学の表表の表表の表表を表表の表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を | で行つ。 習内容の復習 の見方を理解 は境問題の原因 本的な事項に 会に及ばす影 | とともに、 なする。 はと対策について把握を説明で のいて説明で | |
| 意点 受業計 | 直 1stQ | 地理 I 産 I 産 I 産 I 産 I 産 I 産 I 産 I 産 I 産 I | (業いはブ 世地気気気 地 地 環 持 持 資産学につ 2 セ 葉 理 形 候 候 候 様 球 球 境 続 続 源 業 1 明 つか 回ス 大 吹 と 寝 区 区 葉 環 間 同 可 と () と 環 区 区 葉 環 間 同 可 と () |)では主に いての基礎的 のデーマに立 (4時間)の記 とそごからを 国際 可見方・考え7 地形形成営力 環境 (3分(1) (3分(2) 環境問題(1) 環境問題(2) 関題の構図 (3がは会(2) (3がは会(2) (4時はな社会(1) (4時にはな社会(1) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4 | 「自然環境(地形・デロな講義を進める。 ものいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートを理 よくふりかえり整理 近 が ば ば ば は は は は は は は は は は は は は は は は | egraphy)を使いていることがいったの到達目標でしていいな社会の可能をある。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 用して授業学の表表の表表の表表を表表の表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を | で行つ。 習内容の復習 の見方を理解 は境問題の原因 本的な事項に 会に及ばす影 | とともに、 なする。 はと対策について把握を説明で のいて説明で | |
| 意点 受業計 | 直 1stQ | 地、学春学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 | (業いはプリング) はず で |)では主にいての基礎的のテーマに立ての基礎的のテーマに立ての基礎的のテーマに立た。 (4時間)の記とそこから気を可見方・考え7世形形成営力 環境 (3分(1) (3分(2) 環境問題(1) 環境問題(2) 関題の構図 (1) 関節な社会(1) 関節な社会(1) (1) (1) (2) (2) (3) | 「自然環境(地形・デロな講義を進める。 ものいて英語のテキス 講義であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートを理 よくふりかえり整理 近 が ば ば ば は は は は は は は は は は は は は は は は | egraphy)を使いていることがいったの到達目標でしていいな社会の可能をある。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 用して授業学の表表の表表の表表を表表の表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を | で行つ。 習内容の復習 の見方を理解 は境問題の原因 本的な事項に 会に及ばす影 | とともに、 なする。 はと対策について把握を説明で のいて説明で | |
| E意点 受 業計 | 直 1stQ | 地、学春学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11 | (業いはプログライン) では、「大的と環と図り、「大的とこと」では、「大きなのでは、では、「大きなのでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、これでは、「ないでは、」は、「ないでは、これでは、これでは、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ |)では主にいての基礎的のテーマに立ての基礎的のテーマに立ての基礎的のテーマに立た。 (4時間)の記とそこから気を可見方・考え7世形形成営力 環境 (3分(1) (3分(2) 環境問題(1) 環境問題(2) 関題の構図 (1) 関節な社会(1) 関節な社会(1) (1) (1) (2) (2) (3) | 「自然環境(地形・行な講義を進める。」 可な講義を進める。」 であるが、授業 であるが、授業 であるが、授業 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートを理 よくふりかえり整理 近 が ば ば ば は は は は は は は は は は は は は は は は | egraphy)を使いていることがいったの到達目標でしていいな社会の可能をある。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 用して授業学の表表の表表の表表を表表の表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を | で行つ。 習内容の復習 の見方を理解 は境問題の原因 本的な事項に 会に及ばす影 | とともに、 なする。 はと対策について把握を説明で のいて説明で | |
| 意点 | 由 1stQ 2ndQ | 地、学春学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 113週 113週 113週 115週 116週 | (業いはプログラス) はず で で で で で で で で で で で で で で で で で で |)、では主にいての基礎的のテーマに立ての基礎的のテーマに立ての事業では、 (4時間)の記ととこから多いである。 (4時間)の記ととこから多いでは、 (4時間)の記ととこから多いでは、 (4時間)の語彙には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時間)の語》には、 (4時には、 (4時間)の語》には、 (| 「自然環境(地形・行な講義を進める。」 お講義を進める。」 おいて英語のデキス 講義であるが、授業 についたことを各自。 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と産 トブック(GCSE Ge 中は板書ノートを理 よくふりかえり整理 近 が ば ば ば は は は は は は は は は は は は は は は は | egraphy)を使いていることがいったの到達目標でしていいな社会の可能をある。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 用して授業学の表表の表表の表表を表表の表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を | で行つ。 習内容の復習 の見方を理解 は境問題の原因 本的な事項に 会に及ばす影 | とともに、 なする。 はと対策について把握を説明で のいて説明で | |
| 意点受業計 | 由 1stQ 2ndQ | 地、学春学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 113週 113週 113週 115週 116週 | (業いはプログライン) (業のはアンター) (業のはアンター) (で乗り) (で |))では主にいての基礎的のテーマに立ての基礎的のテーマに立ての基礎的のテーマに立ては特別の記念を表現します。 「はいてのを表現します。」 「はいてのを表現します。」 「はいてのを表現します。」 「はいてのを表現しませます。」 「はいてのを表現します。」 「はいてのでは、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、まま | 「自然環境(地形・行な講義を進める。」 お講義を進める。」 おいて英語のデキス 講義であるが、授業 についたことを各自。 | 気候)」、「地球環 世界の自然環境と トブック(GCSE Ge 中は板書ノートを理 上でいる。 はないのでは、 はないのでは、 はいでは、 もいでは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 も。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 も | egraphy)を使いていることがいったの到達目標でしていいな社会の可能をある。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 用して授業学の表表の表表の表表を表表の表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を | で行つ。 習内容の復習 の見方を理解 は境問題の原因 本的な事項に 会に及ぼす影 | とともに、 なする。 はと対策について把握を説明でいて説明で | |
| 意点受業計 | 由 1stQ 2ndQ | 地、学春学 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 90 112 13週 143週 143週 150週 160 170 170 170 170 170 170 170 170 170 17 | (業いはプログライン はず では でいます はず でいます でいます できます できます できます できます できまり できます できます できます できます できます できます できます できます |)、では主にいての基礎的のデーマには基礎的のデーマには基礎的のデーマには (4時間)の記とを発見した。 1980年の一般では、1980年のでは、 | 「自然環境(地形・行な講義を進める。」 「可な講義を進める。」 「おいて英語のテキス 「講義であるが、授業 「であるが、であるが、授業 「であるが、であるが、授業 「であるが、であるが、であるが、であるが、であるが、であるが、であるが、であるが、 | 気候)」、「地球環産 世界の自然環境と トブック(GCSE Ge 中は板書かえり整理 ありかえり整理 ありがえりを理 と産者、消費者、分 | eography)を使とつかけることが。 しておくの到達目標がローバルな社会 はごとの到達目標がローバルな社会 はできる。 は、高いでは、はいる。 は、このでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 用して授業学 まなと、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では | で行つ。習内容の復習の内容の復習を持ちます。これでは、本的ないできる。 | とともに、 はする。 は対策について説明でいて説明でいて説明である。 | |
| 意点 受業計 加 アンデス | 画 1stQ 2ndQ | 地、学春学 週 1 1 2 3 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | (業いはプログライン) では、1 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で |)、では主に いてのテーマにこ (4時に) のデー間)のほと 容 見地形成 でのテー間)のほと での見いでのデー間)のほと ででのデー間)のほと ででのデー間)のほと ででのデー間)のにといる。 ででのデーでは基準である。 ででのデーでは基準である。 ででのデーでは基準である。 ででのデーでは、できませる。 ででのデーでは、できませる。 ででのデーでは、できませる。 ででのデーでは、できませる。 ででのデーでは、できませる。 ででのデーでは、できませる。 ででのデーでは、できませる。 ででのデーでは、できませる。 ででのデーでは、できませる。 できまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな | 「自然環境(地形・行な講義を進める。」 「可な講義を進める。」 「おいて英語のテキス 「おいたことを各自。」 「おいたことを各自。」 「おいたことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことを名も、ことをる。ことをる。ことをる。ことをる。ことをる。ことをる。ことをる。ことをる。 | 気候)」、「地球環産 世界の自然環境と トブック(GCSE Ge 中は板書かえり整理 リカック はないりかえり整理 リカック はないりがえりを理がます。 サはないりがえりを理がます。 地に 環しき エき 持ら | eography)を使とつかけることが。 しておくの到達目標がローバルな社会 はごとの到達目標がローバルな社会 はできる。 は、高いでは、はいる。 は、このでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 用して授業学 まなと、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では | で行つ。習内容の復習の内容の復習の見方を理解の見方を理解をいる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | とともに、 (する。 (する。) (する。) (でで説明でごかいて説明でごかいて説明でごかいで説明でごかいで説明でごかいで説明でごかいで説明でいた。) | |
| 注意点 受 業計 | 画 1stQ 2ndQ | 地、学春学 週 1 1 2 3 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | (業いはプログライン) では、1 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で |)、では主にいてのません。 いてのデーマには基礎的のデーマには基礎的のデーマには基礎的のデーマには (4時こからを | 「自然環境(地形・行な講義を進める。」 「可な講義を進める。」 「対してあるが、授事であるが、授事であるが、を各自なであるが、を各自なであるが、を各自なであるが、を各自なであるが、を各自なであるが、を各自なである。」 「自標であるであるが、を各自なであるが、であるが、という。」 「自標であるのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で | 気候)」、「地球環産 世界の自然環境と トブック(GCSE Ge 中は板書かえり整理 リカック はないりかえり整理 リカック はないりがえりを理がます。 サはないりがえりを理がます。 地に 環しき エき 持ら | egraphy) を使とつの () では | 用して授業学 まなと、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では | で行つ。習内容の復習の内容の復習が見方を理解がある。 一切の見方を理解がある。 一切の見方を理解がある。 一切の見方を理解がある。 一切の見方を理解がある。 一切の見方を理解がある。 一切の見方を理解がある。 一切の見方を理解がある。 | とともに、 はする。 はな対策について把握を説明でいて説明で のいて説明で | |

| | 工学基礎 | 技術者倫理 (知的財産、 法令可能 持続可能性 を含む。 び技術史 | 技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性 | 環境問題を | 環境問題の現状についての基本的な事項につ 術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明でき | いて把握し、科学技 る。 | 3 | 前7 |
|------------|------|--|-----------------------|-------|---|-----------------|---|--------|
| | | | | | 環境問題を考慮して、技術者としてふさわし 明できる。 | い行動とは何かを説 | 3 | 前6,前10 |
| | | | | | 国際社会における技術者としてふさわしい行 きる。 | 動とは何かを説明で | 3 | 前1,前10 |
| | | | を含む)およ び技術史 | | : 過疎化、少子化など地方が抱える問題について認識し、地域社会 に貢献するために科学技術が果たせる役割について説明できる。 | | 3 | |
| | | | | | 全ての人々が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。 | | 3 | 前10 |
| 評価割合 | | | | | | | | |
| 試馬 | | | | 試験 | ì | 合計 | | |
| 総合評価割合 100 | | | | 100 | | 100 | | |
| 基礎的能力 10 | | | | 100 | | 100 | | |
| 専門的能力 0 | | | | 0 | | 0 | | |
| 分野横断的能力 | | | | 0 | | 0 | | |